

- (1) 出展社名 ( 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) )  
(2) 会場名 ( C ) 会場  
(3) 発表時間帯 ( 5月17日(木) 14:00~14:30 )  
(4) タイトル

## 化審法申請のケーススタディ ～試験法改正への対応～

### (5) サマリー

今般、化審法の分解度、濃縮度及び高分子フロースキーム試験が改正されました。新規法の追加や現行法の合理化により、どの試験法を選択するか等で化審法申請にかかるコストや期間に大きく影響を与える場合があります。本発表では、今後の試験設計や申請の進め方についてケーススタディを交えて分かりやすく解説します。

=====

【名 称】化学物質管理ミーディング 2018  
～Chemical Substance Management Meeting 2018～  
【会 期】2018年5月17日(木)・18日(金)の2日間  
【時 間】9:00～17:00  
【会 場】パシフィコ横浜 ホールD (横浜市西区みなとみらい1-1-1)  
【参加費】事前登録者・案内状持参者：無料(当日参加者：有料1,000円(税込))  
【主 催】株式会社化学工業日報社  
【後 援】経済産業省、厚生労働省、環境省、神奈川県、横浜市、川崎市、  
一般社団法人産業環境管理協会、独立行政法人製品評価技術基盤機構、  
中央労働災害防止協会、一般社団法人日本化学工業協会、  
一般社団法人日本化学品輸出入協会、一般社団法人日本化学物質安全・情報センター、  
公益社団法人日本作業環境測定協会、一般社団法人日本試薬協会 (50音順)